

各 位

大阪弁護士会
会長 金子武嗣

第53回日弁連人権擁護大会第1分科会『子どもの貧困』プレシンポジウム

子どもの貧困と虐待 ～負の連鎖を防ぐ子どもと家族への支援を考える～

子どもの虐待が深刻な社会問題となっていますが、子ども虐待の背景要因の一つとして貧困問題が指摘されています。本プレシンポでは、貧困と虐待の間にはどのような関係があるのか？それはなぜなのか？母子保健や教育の現場から、どのような家族や子どもの姿が見えているか？貧困、そして虐待は、乳幼児期や学齢期の子どもの発達にどのような影響を与えているのか？負の連鎖を防止し、子どもの成長発達を保障するために、具体的にどのような支援やシステムが求められるのか？などについて、子どもの貧困、母子保健と医療、学校教育と福祉の各分野の専門家にお集まりいただき、市民の皆様からのご質問もいただきながら、パネルディスカッション形式で語り合います。

貴重な機会ですので、多数のご参加をお待ちしております。

記

■ 日 時：2010年8月21日(土)午後1時30分～午後5時(午後1時開場)

■ 会 場：大阪弁護士会館 2階ホール
〒530-0047 大阪市北区西天満1丁目12番5号 TEL：06-6364-1227

【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

■ 参加費用：無料(事前申込み不要)

■ 企画概要：

第1部：報告 ①子どもの虐待事件、少年事件から見える子どもの貧困

《報告者》弁護士 具 良鈺、弁護士 足立 啓成

報告 ②様々な調査結果から見える子どもの貧困と虐待

《報告者》弁護士 久堀 文

第2部：パネルディスカッション

『子どもの貧困と虐待～負の連鎖を防ぐ子どもと家族への支援を考える～』

《パネリスト》 松本 伊智朗 氏(北海道大学教授)

佐藤 拓代 氏(医師、大阪府立母子保健総合医療センター企画調査部長)

金澤 ますみ 氏(社会福祉士、大阪人間科学大学助教、スクールソーシャルワーカー)

《コーディネーター》 峯本耕治(弁護士)、山本香織(弁護士)

■ お問合わせ先：大阪弁護士会 委員会担当室 子どもの権利委員会担当事務局(脇田)

TEL：06-6364-1227



以上



パネリスト略歴

○松本伊智朗（まつもと・いちろう）氏

北海道大学教育学研究院 教授。専門分野は児童福祉論、貧困研究。北海道子どもの虐待防止協会運営委員、研究誌『貧困研究』（明石書店）編集委員などを務める。日本子どもの虐待防止学会評議員。

<主な著書等>『子どもの貧困白書』（編集委員、明石書店、2009年）、『子ども虐待 介入と支援のはざまー「ケアする社会」の構築に向けて』（共編著、明石書店、2007年）、『子ども虐待と貧困ー忘れられた子どものいない社会をめざして』（明石書店、2010年）。

○佐藤拓代（さとう・たくよ）氏

東大阪市保健所所長、大阪府富田林保健所所長を経て、現在、大阪府立母子保健総合医療センター・企画調査部長。小児科医、産婦人科医を経て1988年に保健所医師に。当時から保健師とともに子どもの虐待に関わり、調査から保健師活動が虐待支援に有効であると言い続けている。特に妊娠期からの虐待予防とネグレクトへの支援の重要性を強調している。日本子どもの虐待防止学会評議員。

<主な著書等>『保健分野における乳幼児虐待リスクアセスメント指標の評価と虐待予防のためのシステムの地域保健活動の構築』『虐待予防と親支援ー保健所からのレポート』『最前線レポート児童虐待はいまー連携システムの構築に向けて』（ミネルヴァ書房、2008年）、『子ども虐待と貧困ー忘れられた子どものいない社会をめざして』（明石書店、2010年）。

○金澤ますみ（かなざわ・ますみ）氏

社会福祉士、大阪人間科学大学 助教、スクールソーシャルワーカー。児童相談所一時保護所嘱託指導員、社会福祉士養成の専門学校専任講師などを経て、2005年度より、大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカーとして活動。

<主な著書等>『教育現場における虐待予防ースクールソーシャルワーカーからのレポート』津崎哲郎・橋本和明編著『児童虐待はいま』（ミネルヴァ書房、2008年）、『児童虐待と貧困ースクールソーシャルワークの現場から』『解放教育』2月号（明治図書、2009年）、（書評論文）『藤本典裕・制度研編「学校から見える子どもの貧困」』『貧困研究』3、（明石書店、2009年）。